大阪狭山市のマスコット

さやりん

市民のみなさんから寄せられた活動を中心に紹介しています。

大阪狭山市市民活動支援センター情報誌

News Letter Express

VOL.70　2023年3月

Mar. 2023 News Release From Osakasayama

目　次

目　次	P
第１回わくわく市民活動・ボランティアフェスティバル	1
しみんのちから登録団体紹介	1
まちごとラボ他	2
市民公益活動促進補助金の申請を受け付けます他	3
情報ステーション	4

第１回わくわく市民活動・ボランティアフェスティバル

2月19日㈰　大阪狭山市で初めての”わくフェス”が市立公民館で開催されました！Ｒ元年度からコロナによる3回の中止を経て、今年度、出展32団体と関係スタッフが一丸となって取り組んできた目的は、この開催をキッカケとして市民がもっと市民活動を知り、自分に合った活動に参加できるスタートラインにしてもらいたい、また活動団体も分野の違う活動との連携をつくることにより市民と団体、団体と団体が楽しみながら繋がることです。イベントコーナーでは、大阪公立大のマジック＆ジャグリングショーやビクトリー仮面が登場、子どもからシニアまで人気沸騰でした。ステージでは、6団体の紹介がありました。中でも、「さやま音頭」は市長初め一般の方も参加、一段と会場がフィーバーしました。この他、ワークショップ、展示、物販、スタンプラリーが行われました。雨にも関わらず多数の家族連れの参加があり、新しい出会いと仲間づくりがあり、笑いと歓声が渦巻くひと時でした。「わくフェス」で知り合った人たちとこのイベントが終わればオワリではなくスタートラインです。ご来場のみなさんや出店いただいた団体のみなさんに感謝！このまちを「ず～と住みたいまち」にしていきましょう。

陶器山の自然

ゴイサギ

情報提供
あまの街道と
陶器山の自然を守る会

「しみんのちから」登録団体NO.３０６　手話サークル　さやま

私たちの手話サークルは、さつきサークル・ゆうサークルの２つのサークルを合併して、平成24年に39名から始めました。サークル会員は会員相互の手話技術向上を図り、手話を通じて聴覚障がい者と健聴者の相互理解を深め、聴覚障がい者の福祉増進と、地域の福祉事業の協力に努めます。

活動内容は①聴覚障がい者との交流②地域の学校（小・中・高）の福祉事業で、手話指導にあたる聴覚障がい者と共に訪問し、通訳活動をする③講演会や手話教室の開催等を行います。１月からは「手話教室」を公民館で開催しています。また「はばたきフェスタ」・「わくフェス」の参加、レクレーション活動、他地区の手話サークルとの交流会等も行っています。定例会は昼の部と夜の部があり、昼の部は毎週木曜日（10:00～12:00）さつき荘で、夜の部は毎週金曜日（19:00～21:00）公民館で開催します。

会員募集をしていますので興味のある方は連絡下さい。　　辻林（072-366-3406）

まちごとラボ

1月29日㈰ SAYAKAホールにて「まちごとラボ」が開催されました。大阪狭山市では、令和４年３月にSDGｓなどの国際動向や人生100年時代を見据えた生涯学習の推進のため、国の動向など日々変化する社会情勢に対応しながら、生涯学習施策を展開することを目的として「大阪狭山市生涯学習計画」が策定されました。この計画の策定を機に、これからの10年先に向けて、市民が「生涯学習とは何か」「なぜ学びが必要なのか」を知る機会とし、「学び」を地域に展開するきっかけづくりや、「学び」をとおしたネットワークを作ることを目的として、市と市民の協働で生涯学習フォーラムが開催されました。「学び・つながり・支え合うまちをめざして」をスローガンに掲げ、①地域活動や市民活動を始めたい人②すでに活動はしているがもっと活動を広げていきたい人③他団体で活動している人とつながりたいと考えている人④関西地域で市民活動を実践している人を対象に、基調講演・分科会・交流会（つながるラボ）等が開催され、沢山の人が参加されていました。

第１８期まちづくり大学修了式

2年間、新型コロナ禍で中止を余儀なくされ開講していなかった「まちづくり大学」はコロナウイルス感染防止策を講じて令和4年9月10日に「第18期まちづくり大学」を開講いたしました。令和5年1月21日までの5か月間、18名の受講生が大阪狭山市の現状を知り、公共施設の見学・ボランティア講座等を受講したのち、修了条件（15講座中11講座以上受講）を満たした12名の方が修了し、令和5年1月28日㈯の修了式において古川市長から修了証書を授与されました。

古川市長からは「まちづくり大学受講は終わりましたが、これからがスタートです。もうすでに皆様方はまちづくりのプレーヤーです。これからはまちづくりに関わり活動を続けていただきたい」との祝辞がありました。
また、修了生代表の市井瀬十代士さんからは「講義・施設見学・ボランティア体験などいろんな知らないことを見聞きし、知識から実行へと少しずつ変化しています」と力強い答辞がありました。

狭山池　池底＆博物館ツアー

天気にめぐまれた2月11日㈷ 博物館の見学と日本最古のダム式ため池、狭山池の池底を歩くツアーが開催されました。主催は大阪府立狭山池博物館・大阪狭山市立郷土資料館・狭山池まつり実行委員会で、共催としてさやか観光会が実際の案内役に対応していました。見学した池底の箇所は2箇所で、西除川流入側と龍神祠前です。
毎年流入した土砂の撤去と池の水質改善をするため農閑期に池の水を抜く「池干し」がおこなわれています。
そのため池底の大半が顔を出して、いつもの狭山池が非日常な場所になり、この時期の池底見学が可能です。事前申し込みで応募した200名ほどの方が1班20名ほどの班編成でさやか公園から出発し、さやか観光会のメンバーが案内役をしていました。普段経験できない見学であり、参加者は興味深く池底を散策しながら、説明に聞き入っていました。池底見学のあとは狭山池博物館の見学があり、こちらは要所要所に狭山池まつり実行委員会のメンバーがいて、参加者を誘導していました。

市民公益活動促進補助金の申請を受け付けます！

令和5年度の市民公益活動促進補助金(予算成立が前提)の申請を受け付けます。この補助金は市民公益活動促進基金を活用し、事業費の一部を市が補助するものです。さまざまな地域の課題を解決し、多数の利益につながる社会貢献活動を実施する団体が応募できます。
補助金申請の手引きや申請書類は、市民活動支援センター、市役所公民連携・協働推進グループの窓口で配布しています。市ホームページからもダウンロードできます。また、申請に関する相談を市民活動支援センターにて随時受け付けていますので、問い合わせてください。
なお、団体の立ち上げを目的にしたスタートアップ支援補助金は市民活動支援センターで随時受け付けています。

補助金上限額　チャレンジ部門10万円(補助率3分の２)、自立促進部門30万円(提案型：補助率2分の１、テーマ型：補助率3分の2)

テーマ型のテーマ
・清掃活動
・若者の居場所づくり
・PCやスマホなど情報社会を進めるためのサポート活動

受付期間　3月10日㈮ まで

問合せ：市役所公民連携・協働推進グループ

私たちの市民活動発表会＆交流会

「しみんのちから」に登録されている団体のみなさんに、日頃の取り組みやこれからの活動への想いを発表していただきます。その活動を多くの人たちに知っていただき、共に活動できるきっかけの場となることを目的として実施します。
今回の発表団体は１．竜泉・里山クラブ　２．まちづくり研究会　３．傾聴さやまの三団体です。
三団体の発表とともに、各団体のパネル展示で活動の様子を見てもらいながら、各団体と参加者の交流を図ります。パネルの前で各団体と参加者がやり取りする時間もありますので、直接話を聞くことができます。
皆さまの参加をお待ちしています。
日　時：3月4日㈯　14：00～16：00
場　所：市立コミュニティセンター　大会議室

定　員：40名（要申込）
参加費：無料
締　切：2月28日㈫　但し定員になり次第締切ります。
申込・問合せ：市民活動支援センター
TEL・FAX　　366-4664

スマートフォン

市民活動を支援する為の備品活用講習会

市民活動を支援するための、ＩＴ機器貸出備品の利用方法について講習会を２回に分けて開催致します。貸出機器を有効に使っていただくために、活用事例を動画などを使って紹介し、実際に機器を操作しながら使用方法を学んでいただきます。
貸出の対象は①支援センターに登録している団体（しみんのちから登録団体）②自治会、住宅会、子ども会、老人会等地域活動団体のみなさんです。
２日間の講習内容は下記のとおりです。

１日目　4月8日㈯　14:00～16:00
　市役所南館２階　講堂　定員10名
対象機種：ビデオカメラ、プロジェクター、スクリーン他

２日目　4月15日㈯　14:00～16:00
　市役所南館２階　講堂　定員10名
対象機種：アクションカメラ、マイク類、動画編集アプリ　他
申込はTEL、FAX、QRコードより
詳しくは当支援センターまで
　TEL・FAX　366-4664

スマートフォン

情報ステーション

大きなポスターを作ってみよう

テンプレート等を使ってイベント等の大きなポスターを簡単に作ってみませんか？

日　時：4月15日㈯　10:00～12:00
場　所：市役所南館2階　講堂
対　象：大阪狭山市内に居住・勤務している人
内　容：大きなポスターの作り方
参加費：無料（材料費は実費）
定　員：10人（先着順）見学だけも可
持ち物：ノートパソコン（M/S Office 必須）
申　込：4月14日㈮　17:00 までにFAXかメールで参加者の名前・電話番号・メールアドレスを明記の上、当支援センター　FAX:366-4664　へ
電子メールの場合は
soumu@osakasayamasc.onmicrosoft.com
支援センターホームページからも申込できます。
http://osakasayama-sc.jp
問合せ：市民活動支援センター
TEL：366-4664

スマートフォン

市民公益活動促進補助金

令和4年度事業報告会,令和5年度公開プレゼンテーション

令和4年度の市民公益活動促進補助金は、自立促進部門でテーマ型が1団体1事業、提案型が4団体4事業に補助金が交付され、その団体が事業成果を報告会で発表します。同時に、令和5年度の公開プレゼンテーションも開催します。
この報告会とプレゼンテーションでは、市民は、どのような事業に補助金が支出されているのかを知ることができ、これから補助金を受けて事業を企画したいと考えている団体は、どのような事業が選ばれているのかを具体的に知ることができます。それぞれの団体が工夫を凝らしたプレゼンテーションを行います。

とき　4月16日㈰ 9:45から
ところ　市役所南館・講堂　**申し込み**　不要
問い合わせ　公民連携・協働推進グループ、市民活動支援センター

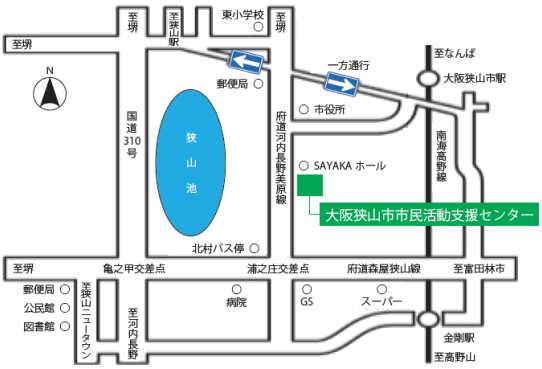
令和4年度事業報告団体 自立促進部門テーマ型

団体名	事業名
特定非営利活動法人南大阪サポートネット	地域で作る“生きづらい人々の居場所”トビラファーム

自立促進部門提案型

団体名	事業名
特定非営利活動法人南大阪サポートネット	ひきこもりの若者たちが「EM 廃油石鹸」で未来との循環を作る
特定非営利活動法人ワークレッシュ	市民の学び屋 Gotcha!（ガッチャ）
NPO 団体 グローバル・スクール	”歌の力”で高齢者の孤立、孤独をサポートする「高齢者の歌声広場」
猫ともクラブ in 大阪狭山	人も猫もしあわせなまちづくり～さくら猫 おそうじパトロール～

大阪狭山市市民活動支援センター
News Letter Express
発行責任者：橋本　巖
編集責任者：早野　秀夫
〒589-0005 大阪狭山市狭山1-862-5
TEL・FAX：072-366-4664
E-mail:simin025@yacht.ocn.ne.jp
http://osakasayama-sc.jp



編集後記

今年は阪神淡路大震災後28年になる。当時大阪狭山市に在住し、建物の最上階9階での我が家ではどんなことが起きたかを改めて考えて見た。書庫・水屋・TV・机のPCなどが振っトビ、割れ物など多発して危険で素足では歩けない状態だった。建屋も弱い箇所などひび割れ等あり補修が必要だった。現在自宅では耐震強化のつっかえ棒など利用し転倒防止、水屋などの扉が耐震設計のものに替えている。住んでいるところは昭和53年建造なので新耐震基準の建物ではないが耐震診断とその対策には多額の経費が見込まれるため管理組合でも修繕計画に立案予算化できにくい案件である。それとは別に老朽化のための設備の改修計画もある。それと居住者の高齢化にともない管理組合の自主運営がしにくい状況になりつつあるのが心配ごとである。南海トラフ地震や上町断層地震の30年以内での地震確率があるため、なかなか安心できる時世ではない。しかし日本の平均寿命の中心にいる身では余命を考えるとどうでもなれの身分なので終活で不要なものを処分するほうが先ではないかと思う。（U）